

『野菜へのアドバイス』

～熱血漢に調理される運命を学ぶ～

私たちは皆、巨大な鍋の中にいます。
止めどなく話す知ったかぶり屋の隣で、
あるいは、無口で無味乾燥なジャガイモ
の隣で煮られています。

でも、玉ねぎは全然違います。
いつものキャセロール料理に命を吹き込みます。
また、シンプルな豆が過激な料理
の材料にもなります。

スライスする前でも、
玉ねぎはフライパンを恐れていません。
炎に勇敢に立ち向かうジューシーな
玉ねぎを賞賛します。

料理にはゲストが必要だ。

我々一人一人の人生がキャセロールの中で花開く。
切り刻まれたり、揚げられたりする
ことを心配する必要はない。
我々は皆、執拗な時間の炎の下で料理されています。

玲亜：私が信じていることの一つは、私たちは皆、この人生というシチュエーションの中に一緒にいるということです。

悟：しかし、多くの人々は、自分らが他の人にどのような影響を与えるかについての洞察力を全然持ってない。自分自身だけのことを考えて行動してます。彼らは自分たちの福祉が他の人々の幸福とどのように関連しているかを理解していません。

ミン：（息をつきながら）そのような近視眼的な考え方を表す言葉はただひとつ、「愚かさ」です。

- T Newfields (和訳：テレサさんと吉田典子)

開始：1991年 静岡市 ・ 完成：2021年 横浜市

